

# 2021年3月期 第3四半期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス  
2021年2月3日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

# 目次

## <2021年3月期 第3四半期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・	6
・事業セグメント別 業績概要	・・・	7
・非経常項目	・・・	11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・	12
・連結財政状態計算書	・・・	13

## <2021年3月期 通期業績予想修正>

・業績予想 連結損益計算書	・・・	15
・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	16

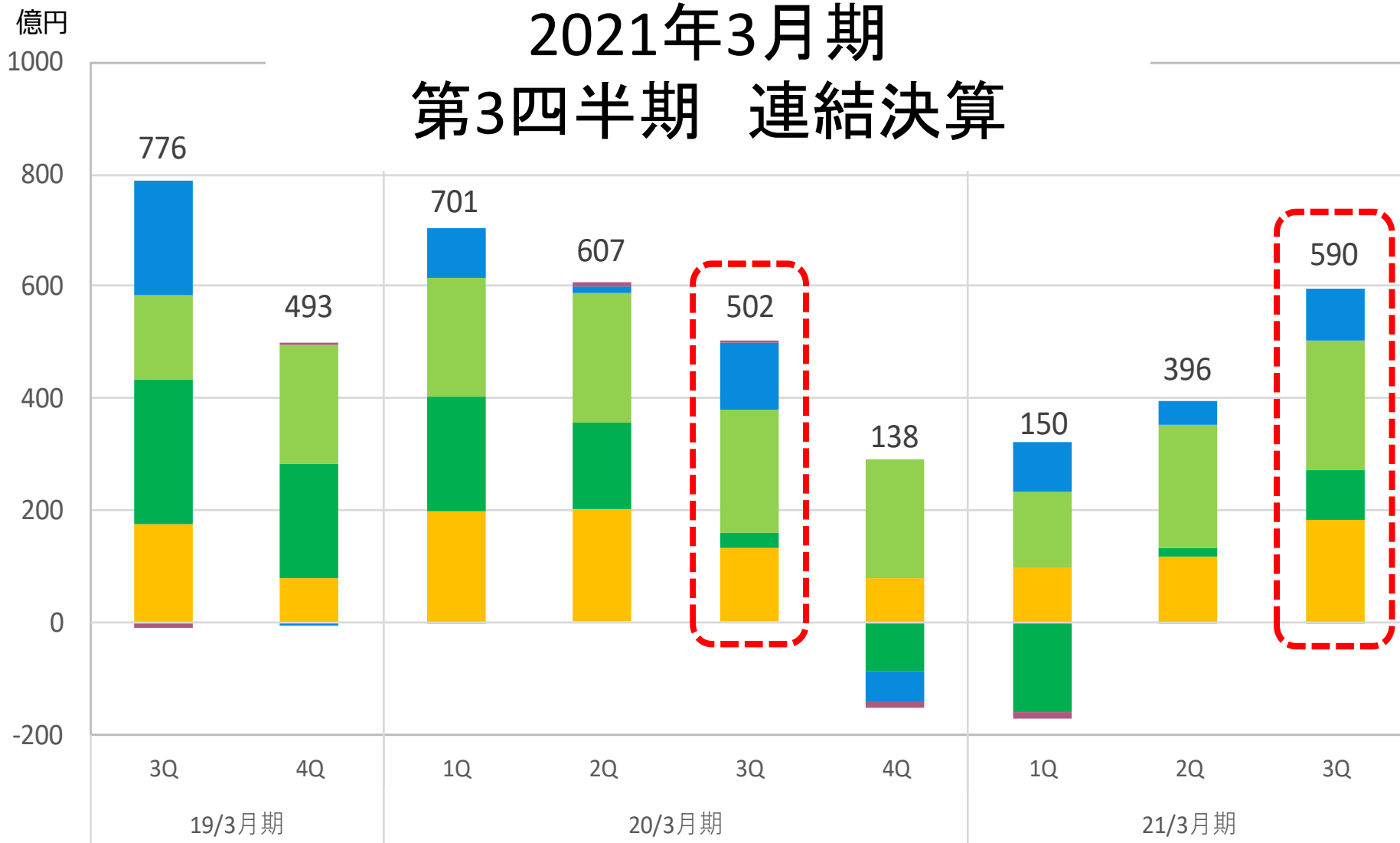
## <参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	・・・	18
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・	19
・各報告セグメントの事業部門	・・・	20

## <参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2020年度 第3四半期 決算概要	・・・	21
--------------------	-----	----

# 2021年3月期 第3四半期 連結決算



■ 機能商品 ■ ケミカルズ ■ 産業ガス ■ ヘルスケア ■ その他

事業セグメント別 コア営業利益 四半期別推移

# 連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	104.0	105.5	109.3	108.9	△ 3.4	△3%
ナフサ単価 (¥/kl)	31,300	28,800	41,300	42,300	△ 13,500	△32%

(億円)

	3Q	21/3月期 3Q累計	3Q	20/3月期 3Q累計	増減	増減率	
継続事業 *2	売上収益	8,506	<b>23,554</b>	9,031	27,308	<b>△ 3,754</b>	△14%
	コア営業利益 *1	590	<b>1,136</b>	502	1,810	<b>△ 674</b>	△37%
	非経常項目	△ 302	<b>△ 1,129</b>	△ 202	△ 204	<b>△ 925</b>	
	営業利益	288	<b>7</b>	300	1,606	<b>△ 1,599</b>	-
	金融収益・費用	△ 48	<b>△ 135</b>	△ 77	△ 159	<b>24</b>	
	(内、受取配当金)	(7)	<b>(35)</b>	(11)	(41)	<b>(△ 6)</b>	
	(内、為替差損益)	(△ 3)	<b>(△ 7)</b>	(△ 28)	(△ 24)	<b>(17)</b>	
	税引前利益(△損失)	240	<b>△ 128</b>	223	1,447	<b>△ 1,575</b>	
	法人所得税	△ 125	<b>△ 156</b>	△ 157	△ 533	<b>377</b>	
	継続事業からの四半期利益(△損失)	115	<b>△ 284</b>	66	914	<b>△ 1,198</b>	
非継続事業からの四半期利益 *3	-	-	-	169	<b>△ 169</b>		
四半期利益(△損失)	115	<b>△ 284</b>	66	1,083	<b>△ 1,367</b>		
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	19	<b>△ 478</b>	△ 50	763	<b>△ 1,241</b>	-	
非支配持分に帰属する四半期利益	96	<b>194</b>	116	320	<b>△ 126</b>		

\*1 内、持分法投資損益

 42 **53** 26 107 **△ 54**

\*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

\*3 20/3月期の数値には株式交換差益(税引後)158億円を含めております。

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

					21/3月期	20/3月期	増減
		1Q	2Q	3Q	3Q累計	3Q累計	
全社	売上収益	7,227	7,821	8,506	23,554	27,308	△ 3,754
	コア営業利益	150	396	590	1,136	1,810	△ 674
機能部材	売上収益	1,427	1,504	1,628	4,559	5,195	△ 636
	コア営業利益	87	87	101	275	355	△ 80
機能化学	売上収益	875	930	1,090	2,895	3,283	△ 388
	コア営業利益	12	29	83	124	180	△ 56
機能商品	売上収益	2,302	2,434	2,718	7,454	8,478	△ 1,024
	コア営業利益	99	116	184	399	535	△ 136
MMA	売上収益	525	621	644	1,790	2,090	△ 300
	コア営業利益	△ 12	30	48	66	257	△ 191
石化	売上収益	842	984	1,156	2,982	4,091	△ 1,109
	コア営業利益	△ 136	11	26	△ 99	28	△ 127
炭素	売上収益	444	394	464	1,302	1,977	△ 675
	コア営業利益	△ 13	△ 26	13	△ 26	99	△ 125
ケミカルズ	売上収益	1,811	1,999	2,264	6,074	8,158	△ 2,084
	コア営業利益	△ 161	15	87	△ 59	384	△ 443
産業ガス	売上収益	1,829	1,985	2,061	5,875	6,283	△ 408
	コア営業利益	135	221	233	589	665	△ 76
ヘルスケア	売上収益	952	988	1,057	2,997	3,078	△ 81
	コア営業利益	89	45	90	224	220	4
その他	売上収益	333	415	406	1,154	1,311	△ 157
	コア営業利益	△ 12	△ 1	△ 4	△ 17	6	△ 23

【受払差】

機能化学	△ 5	△ 3	14	6	△ 10	16
石化	△ 143	△ 5	△ 4	△ 152	△ 35	△ 117
炭素	△ 5	△ 9	1	△ 13	△ 13	0
合計	△ 153	△ 17	11	△ 159	△ 58	△ 101

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

\*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

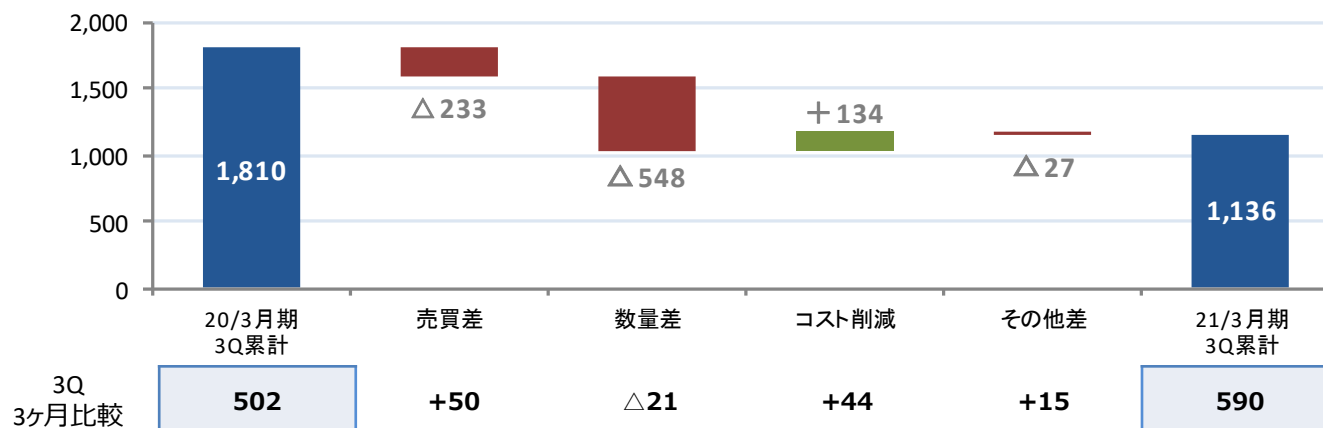
# コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減	増減要因			
				売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	1,136	1,810	△ 674	△ 233	△ 548	134	△ 27
機能商品	399	535	△ 136	26	△ 269	46	61
ケミカルズ	△ 59	384	△ 443	△ 180	△ 137	30	△ 156
産業ガス	589	665	△ 76	17	△ 106	2	11
ヘルスケア	224	220	4	△ 100	△ 36	56	84
その他	△ 17	6	△ 23	4	0	0	△ 27

\*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

為替影響	△ 21	△ 34	△ 3	-	16
うち換算差	△ 10				



# 機能商品セグメントの業績概要

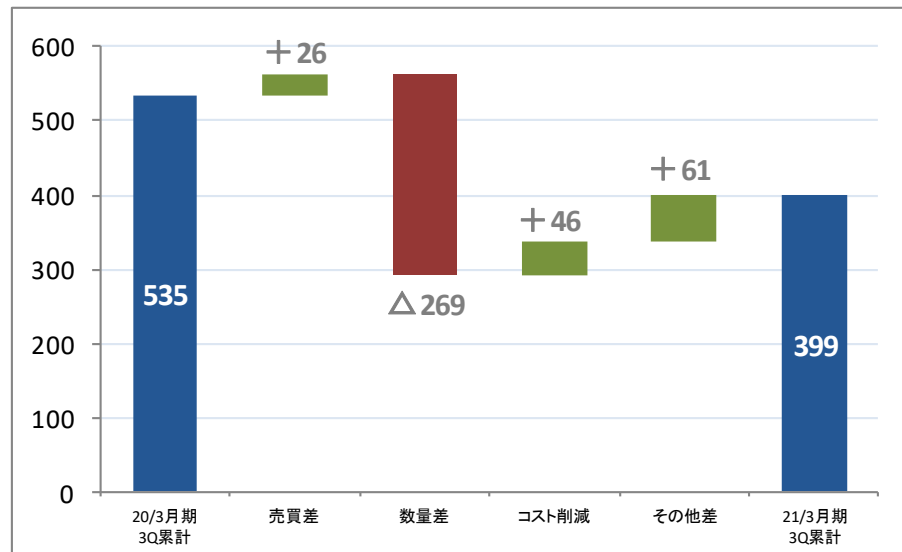
(億円)

		21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減
機能部材	売上収益	4,559	5,195	△ 636
	コア営業利益	275	355	△ 80
機能化学	売上収益	2,895	3,283	△ 388
	コア営業利益	124	180	△ 56
機能商品	売上収益	7,454	8,478	△ 1,024
	コア営業利益	399	535	△ 136

## <セグメント内識別 業績概要>

機能部材	売上収益	当第3四半期以降、需要は回復しつつあるものの、前年同期比では高機能エンジニアリングプラスチック等の自動車向けの販売数量が減少。
	コア営業利益	高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量の減少等により減益。
機能化学	売上収益	機能性樹脂等の自動車向けの販売数量が減少したことに加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理等の影響により販売数量が減少。
	コア営業利益	機能性樹脂やフェノール・ポリカーボネートチェーン等の販売数量の減少等により減益。

## <コア営業利益 増減要因>



## <トピックス>

- 三菱ケミカル社は、コンタクトレンズ原料や抗菌剤などのケイ素化合物、半導体プリカーサー等に用いられる金属化合物等の領域において、高度な分子設計・合成技術を保有するジェレスト社を買収することを2020年4月に決定し、同年10月に連結子会社化。同社の広範な知見と、三菱ケミカル社の技術、経営資源、顧客ネットワーク等を組み合わせることで、提供可能なソリューションの大幅な拡充を目指す。
- 三菱ケミカル社と宇部興産社は、2020年3月に発表した電解液事業の統合について、両社の同事業に関する資産を合弁新設社(MUアイオニックソリューションズ社)に承継・統合する旨の共同新設分割計画書に同年7月に合意し、同合弁新設社を10月に設立。

3Q  
3ヶ月比較

134

+24

+4

+12

+10

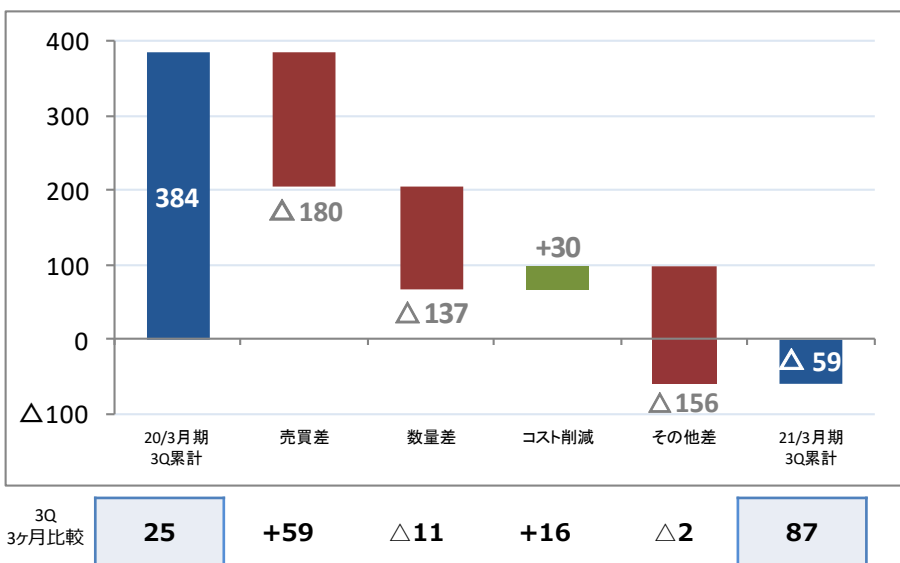
184

# ケミカルズセグメントの業績概要

(億円)

		21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減
MMA	売上収益	1,790	2,090	△ 300
	コア営業利益	66	257	△ 191
石化	売上収益	2,982	4,091	△ 1,109
	コア営業利益	△ 99	28	△ 127
炭素	売上収益	1,302	1,977	△ 675
	コア営業利益	△ 26	99	△ 125
ケミカルズ	売上収益	6,074	8,158	△ 2,084
	コア営業利益	△ 59	384	△ 443

## ＜コア営業利益 増減要因＞



## ＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	当第3四半期以降、MMAモノマー等の市況が上昇しているものの、前年同期比では低水準で推移したことにより減収。
	コア営業利益	市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小等により減益。
石化	売上収益	エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したことにより販売数量が減少したことに加え、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下。
	コア営業利益	定期修理の影響拡大及び原料価格下落に伴う受払差損等により減益。
炭素	売上収益	原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びコークス等の需要減退に伴う販売数量の減少により減収。
	コア営業利益	需要減退に伴う販売数量の減少等により減益。

## ＜トピックス＞

- 三菱ケミカル社は、香川事業所における高炉向けコークス事業の最適な生産及び販売体制への構造改革として、2021年3月末までにコークス炉323門を250門に縮小するとともに、輸出出荷設備を増強(2022年3月末稼働予定)することを決定。
- 三菱ケミカル社は、MMA事業の競争力の強化と供給体制の最適化を図るため、米国ポーモント工場におけるMMAモノマー及びMAA生産(年産13.5万トン)を終了し、2021年2月末(予定)に閉鎖することを決定。
- 三菱ケミカル社は、米国において、独自技術である新エチレン法を用いたMMAモノマーのプラント(年産35万トン)の建設を前提にルイジアナ州ガイスマーの土地を取得。2025年中の稼働を目標とする。



# 産業ガスセグメントの業績概要

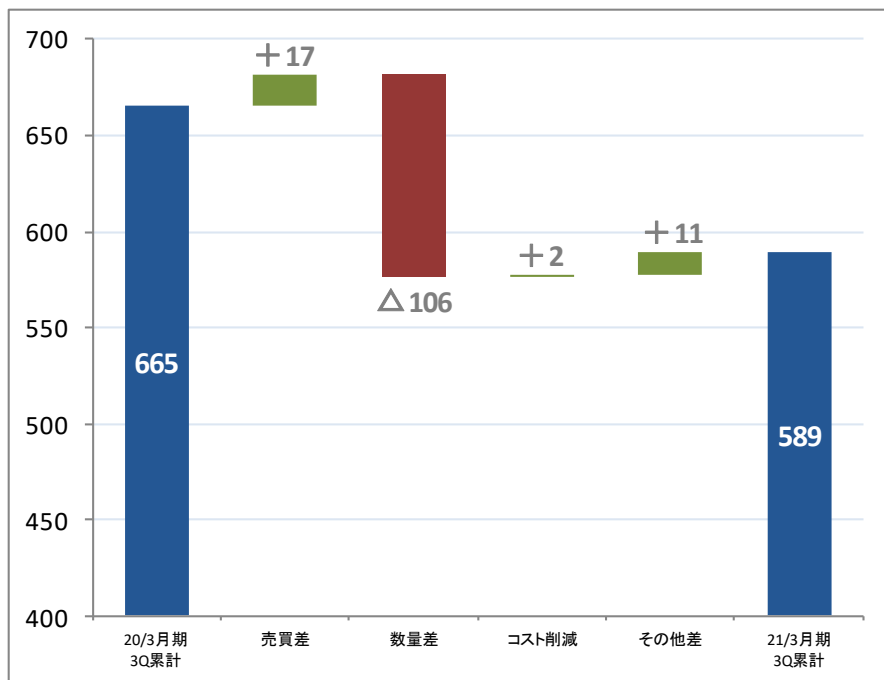
(億円)

		21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減
産業ガス	売上収益	5,875	6,283	△ 408
	コア営業利益	589	665	△ 76

## <セグメント内識別 業績概要>

産業ガス	売上収益	エレクトロニクス関連向けガスが堅調に推移したものの、国内外の需要が総じて減退したことにより減収。
	コア営業利益	国内外の需要が総じて減退したこと等により減益。

## <コア営業利益 増減要因>



## <トピックス>

- 大陽日酸社は、グローバルガスメジャーとして競争力のあるグループ運営体制を構築するため、2020年10月1日に持株会社体制へ移行し、商号を日本酸素ホールディングス社に変更。

3Q  
3ヶ月比較

222

+1

+4

+1

+5

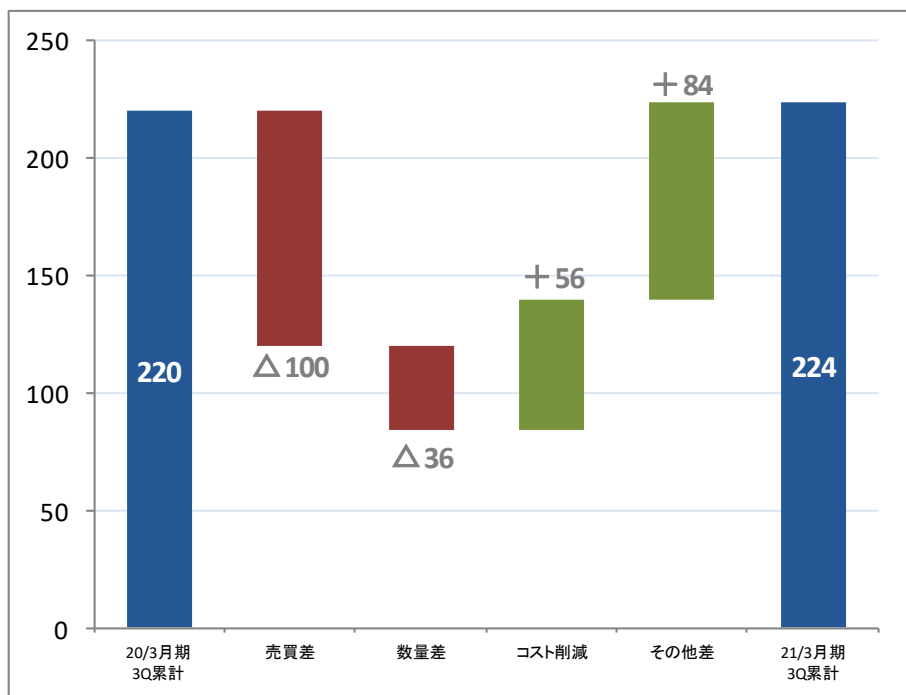
233

# ヘルスケアセグメントの業績概要

(億円)

		21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減
ヘルスケア	売上収益	2,997	3,078	△ 81
	コア営業利益	224	220	4

## <コア営業利益 増減要因>



3Q 3ヶ月比較	117	△36	△18	+15	+12	90
-------------	-----	-----	-----	-----	-----	----

## <セグメント内識別 業績概要>

ヘルスケア	売上収益	薬価改定等の影響による国内医療用医薬品の減少等により減収。
	コア営業利益	薬価改定等の影響による国内医療用医薬品の減少等はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等による販売費や研究開発費の減少により前年同期並み。

注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

## <トピックス>

- 田辺三菱製薬社は、エダラボン(一般名)(米国製品名:「ラジカヴァ」)の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の適応症について、日本・韓国・米国・カナダ・スイス・中国に次ぎ、2020年7月にインドネシアで承認を取得。

# 非経常項目

(億円)

	3Q	21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	増減
<b>非経常項目 合計</b>	△ 302	<b>△ 1,129</b>	△ 204	<b>△ 925</b>
減損損失	△ 202	<b>△ 1,072</b>	△ 194	<b>△ 878</b>
特別退職金	△ 54	<b>△ 54</b>	△ 11	<b>△ 43</b>
固定資産除売却損	△ 12	<b>△ 44</b>	△ 34	<b>△ 10</b>
工場閉鎖関連損失 引当金繰入額	△ 33	<b>△ 33</b>	-	<b>△ 33</b>
関係会社株式売却損	△ 4	<b>△ 5</b>	△ 15	<b>10</b>
固定資産売却益	0	<b>86</b>	44	<b>42</b>
持分法による投資利益	27	<b>27</b>	-	<b>27</b>
段階取得に係る差益	13	<b>13</b>	-	<b>13</b>
関係会社株式売却益	-	<b>9</b>	5	<b>4</b>
その他	△ 37	<b>△ 56</b>	1	<b>△ 57</b>

MMA ポーメント工場閉鎖関連損失△236億円(減損損失△194、特別退職金△9、工場閉鎖関連損失引当金繰入額△33)

## 【セグメント別内訳】

機能商品	△ 4	△ 40	△ 17	△ 23
ケミカルズ	△ 237	△ 260	△ 13	△ 247
産業ガス	28	27	21	6
ヘルスケア	△ 30	△ 795	△ 163	△ 632
その他	△ 59	△ 61	△ 32	△ 29

# 連結キャッシュ・フロー計算書

	財務諸表ベース		*1 実質ベース	
	21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	20/3月期 3Q累計
<b>営業活動によるCF</b>	2,722	3,378	<b>2,722</b>	3,378
税前損益	△ 128	1,703	<b>△ 128</b>	1,703
減価償却費	1,810	1,794	<b>1,810</b>	1,794
営業債権債務	△ 424	318	<b>△ 424</b>	318
棚卸資産	461	59	<b>461</b>	59
その他	1,003	△ 496	<b>1,003</b>	△ 496
<b>投資活動によるCF</b>	△ 1,488	△ 1,150	<b>△ 2,188</b>	△ 1,430
設備投資	△ 1,844	△ 1,677	<b>△ 1,844</b>	△ 1,677
資産売却	243	167	<b>243</b>	167
投融資 他	113	360	<b>△ 587</b>	80
<b>FCF</b>	<b>1,234</b>	<b>2,228</b>	<b>534</b>	<b>1,948</b>
<b>財務活動によるCF</b>	△ 348	△ 2,943		
有利子負債	1,028	△ 2,067		
子会社株式追加取得	*2 △ 985	△ 17		
配当 他	△ 391	△ 859		
<b>現金及び現金同等物の増減</b>	<b>886</b>	<b>△ 715</b>		
<b>為替換算差等</b>	<b>43</b>	<b>△ 47</b>		
<b>現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>2,282</b>	<b>3,215</b>		
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>3,211</b>	<b>2,453</b>		

(億円)

\*1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

\*2 田辺三菱製薬株式の追加取得△954億円

# 連結財政状態計算書

	20/12月末	20/3月末	増減
現金及び現金同等物	3,211	2,282	929
営業債権	7,167	6,985	182
棚卸資産	5,680	6,065	△ 385
その他	1,517	2,161	△ 644
<b>流動資産合計</b>	<b>17,575</b>	<b>17,493</b>	<b>82</b>
固定資産	21,839	22,528	△ 689
のれん	6,560	6,168	392
投融資等	5,243	5,132	111
<b>非流動資産合計</b>	<b>33,642</b>	<b>33,828</b>	<b>△ 186</b>
<b>資産合計</b>	<b>51,217</b>	<b>51,321</b>	<b>△ 104</b>

	20/12月末	20/3月末	増減
有利子負債	25,176	23,881	1,295
営業債務	3,704	3,981	△ 277
その他	7,922	8,951	△ 1,029
<b>負債合計</b>	<b>36,802</b>	<b>36,813</b>	<b>△ 11</b>
資本金・剰余金等	11,834	12,345	△ 511
その他の資本の構成要素	△ 505	△ 643	138
親会社の所有者に帰属する持分	<b>11,329</b>	<b>11,702</b>	<b>△ 373</b>
非支配持分	3,086	2,806	280
<b>資本合計</b>	<b>14,415</b>	<b>14,508</b>	<b>△ 93</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>51,217</b>	<b>51,321</b>	<b>△ 104</b>

ネット有利子負債 *1	21,965	20,899	1,066
ネットD/Eレシオ	1.94	1.79	0.15
親会社所有者帰属持分比率	22.1%	22.8%	△0.7%
ROE *2	-	4.2%	-

\*1 ネット有利子負債(20/12月末)

=有利子負債25,176億円-(現金・現金同等物3,211億円+手元運用資金残高0億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

\*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

# 2021年3月期 通期業績予想修正

# 業績予想 連結損益計算書

為替レート(¥/\$)	106.3	104.0	104.0	104.0	105.2
ナフサ単価(¥/kl)	27,600	31,300	37,500	34,400	31,000

(億円)

乖離率

1%

9%

475%

-

	上期実績	3Q実績	4Q予想	下期予想	21/3月期 通期予想	11/4発表 通期予想	増減	乖離率
	<b>売上収益</b>	15,048	8,506	8,376	16,882	<b>31,930</b>	31,750	<b>180</b>
<b>コア営業利益</b>	546	590	394	984	<b>1,530</b>	1,400	<b>130</b>	9%
非経常項目	△ 827	△ 302	△ 171	△ 473	<b>△ 1,300</b>	△ 1,360	<b>60</b>	
<b>営業利益 (△ 損失)</b>	△ 281	288	223	511	<b>230</b>	40	<b>190</b>	475%
金融収益・費用	△ 87	△ 48	△ 55	△ 103	<b>△ 190</b>	△ 200	<b>10</b>	
<b>税引前利益 (△ 損失)</b>	△ 368	240	168	408	<b>40</b>	△ 160	<b>200</b>	
法人所得税	△ 31	△ 125	△ 104	△ 229	<b>△ 260</b>	△ 180	<b>△ 80</b>	
<b>継続事業からの当期利益 (△ 損失)</b>	△ 399	115	64	179	<b>△ 220</b>	△ 340	<b>120</b>	
非継続事業からの当期利益	-	-	-	-	-	-	-	
<b>当期利益 (△ 損失)</b>	△ 399	115	64	179	<b>△ 220</b>	△ 340	<b>120</b>	
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△ 損失)	△ 497	19	△ 2	17	<b>△ 480</b>	△ 590	<b>110</b>	-
非支配持分に帰属する当期利益	98	96	66	162	<b>260</b>	250	<b>10</b>	

\*1 非継続事業に係る数値を控除しております。

# 業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

		上期実績	3Q実績	4Q予想	下期予想	21/3月期 通期予想	11/4発表 通期予想	増減
全社	売上収益	15,048	8,506	8,376	16,882	31,930	31,750	180
	コア営業利益	546	590	394	984	1,530	1,400	130
機能部材	売上収益	2,931	1,628	1,571	3,199	6,130	6,090	40
	コア営業利益	174	101	65	166	340	370	△ 30
機能化学	売上収益	1,805	1,090	1,105	2,195	4,000	3,890	110
	コア営業利益	41	83	76	159	200	140	60
機能商品	売上収益	4,736	2,718	2,676	5,394	10,130	9,980	150
	コア営業利益	215	184	141	325	540	510	30
MMA	売上収益	1,146	644	660	1,304	2,450	2,210	240
	コア営業利益	18	48	64	112	130	50	80
石化	売上収益	1,826	1,156	1,138	2,294	4,120	4,050	70
	コア営業利益	△ 125	26	34	60	△ 65	△ 100	35
炭素	売上収益	838	464	428	892	1,730	1,720	10
	コア営業利益	△ 39	13	21	34	△ 5	△ 30	25
ケミカルズ	売上収益	3,810	2,264	2,226	4,490	8,300	7,980	320
	コア営業利益	△ 146	87	119	206	60	△ 80	140
産業ガス	売上収益	3,814	2,061	2,075	4,136	7,950	8,220	△ 270
	コア営業利益	356	233	221	454	810	800	10
ヘルスケア	売上収益	1,940	1,057	873	1,930	3,870	3,870	0
	コア営業利益	134	90	△ 94	△ 4	130	130	0
その他	売上収益	748	406	526	932	1,680	1,700	△ 20
	コア営業利益	△ 13	△ 4	7	3	△ 10	40	△ 50

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。



# 参考資料①

# 連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)	109.7	107.7	109.3	109.1	107.4	105.3	104.0
ナフサ単価 (¥/kl)	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000	30,200	31,300

(億円)

	20/3月期				21/3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>売上収益</b>	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506
<b>コア営業利益 *1</b>	701	607	502	138	150	396	590
非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914	△ 302
<b>営業利益 (△損失)</b>	699	607	300	△ 163	237	△ 518	288
金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33	△ 54	△ 48
(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)	(3)	(7)
(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)	(△ 4)	(△ 3)
<b>税引前利益 (△損失)</b>	666	558	223	△ 227	204	△ 572	240
法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122	91	△ 125
<b>継続事業からの当期利益 (△損失)</b>	484	364	66	△ 217	82	△ 481	115
非継続事業からの当期利益	5	164	-	-	-	-	-
<b>当期利益 (△損失)</b>	489	528	66	△ 217	82	△ 481	115
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△損失)	378	435	△ 50	△ 222	52	△ 549	19
非支配持分に帰属する当期利益	111	93	116	5	30	68	96
	50	31	26	27	2	9	42

\*1 内、持分法投資損益

\*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

		20/3月期				21/3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全社	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506
	コア営業利益	701	607	502	138	150	396	590
機能部材	売上収益	1,718	1,754	1,723	1,609	1,427	1,504	1,628
	コア営業利益	126	139	90	40	87	87	101
機能化学	売上収益	1,102	1,095	1,086	1,094	875	930	1,090
	コア営業利益	71	65	44	37	12	29	83
機能商品	売上収益	2,820	2,849	2,809	2,703	2,302	2,434	2,718
	コア営業利益	197	204	134	77	99	116	184
MMA	売上収益	777	721	592	535	525	621	644
	コア営業利益	138	114	5	△ 19	△ 12	30	48
石化	売上収益	1,347	1,371	1,373	1,253	842	984	1,156
	コア営業利益	8	10	10	△ 49	△ 136	11	26
炭素	売上収益	717	638	622	489	444	394	464
	コア営業利益	60	29	10	△ 18	△ 13	△ 26	13
ケミカルズ	売上収益	2,841	2,730	2,587	2,277	1,811	1,999	2,264
	コア営業利益	206	153	25	△ 86	△ 161	15	87
産業ガス	売上収益	2,086	2,109	2,088	2,150	1,829	1,985	2,061
	コア営業利益	211	232	222	215	135	221	233
ヘルスケア	売上収益	1,025	930	1,123	853	952	988	1,057
	コア営業利益	91	12	117	△ 55	89	45	90
その他	売上収益	392	495	424	514	333	415	406
	コア営業利益	△ 4	6	4	△ 13	△ 12	△ 1	△ 4

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

\*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカブス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

# 各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳		
			事業内容	
機能商品	機能商品	機能部材	情電・ディスプレイ	光学フィルム、ディスプレイ・半導体関連製品
			高機能フィルム	包装フィルム、工業フィルム
			環境・生活ソリューション	アクア・分離ソリューション、インフラ・アグリマテリアルズ
			高機能成形材料	高機能エンジニアリングプラスチック、繊維、炭素繊維複合材料、機能成形複合材、アルミナ繊維・軽金属
		機能化学	高機能ポリマー	パフォーマンスポリマーズ、エンジニアリングポリマーズ、サステイナブルリソース
			高機能化学	機能化学品、機能材料、食品機能材
			新エネルギー	リチウムイオン電池材料、エネルギー変換部材
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

# 参考資料②

## (田辺三菱製薬 決算概要)

**田辺三菱製薬株式会社**



田辺三菱製薬

# **2020年度第3四半期 決算概要**

**(2020年4月1日～2020年12月31日)**

**2021年2月3日**

# 2020年度第3四半期 決算概要

	2020年度 第3四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第3四半期	増減額	増減率	通期予想 2020/11/4公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	2,902	2,974	△ 72	△ 2.4	3,730	77.8
国内	2,418	2,473	△ 55	△ 2.2	3,122	77.4
海外	484	502	△ 17	△ 3.5	608	79.6
海外売上比率	16.7%	16.9%			16.3%	
売上原価	1,472	1,431	+ 42	+ 2.9	1,875	78.5
売上原価率	50.7%	48.1%			50.3%	
売上総利益	1,430	1,543	△ 114	△ 7.4	1,855	77.1
販管費等	1,182	1,302	△ 120	△ 9.2	1,685	70.2
内、研究開発費	503	576	△ 73	△ 12.7	725	69.3
コア営業利益 <sup>*1</sup>	247	242	+ 6	+ 2.3	170	145.5
非経常項目 <sup>*2</sup>	△ 795	8	△ 803	-	△ 795	-
内、固定資産売却益（戸田）	75	-	+ 75	-	-	-
内、減損損失 <sup>*3</sup>	△ 845	-	△ 845	-	-	-
営業利益 <sup>*2</sup>	△ 547	250	△ 797	-	△ 625	-
金融損益 <sup>*2</sup>	3	△ 4	+ 6	-		
当期利益（親会社帰属） <sup>*2</sup>	△ 453	182	△ 635	-	△ 525	-
期中平均レート（米ドル）	105.54円	108.89円			108.00円	

\*1 当四半期における新型コロナ影響：+68億円

開発費用の発生遅れ、販売活動縮小による経費減少が受診抑制等による売上減の影響を上回り増益影響

\*2 費用・損失の場合に△と表示

\*3 ニューロダーム社の製品に係る無形資産減損損失（第2四半期に計上）

	2020年度 第3四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第3四半期	増減額	増減率	通期予想 2020/11/4公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	2,350	2,396	△ 47	△ 2.0	3,023	77.7
重点品	1,392	1,379	+ 13	+ 1.0	1,830	76.1
ワクチン*	360	329	+ 30	+ 9.3	416	86.4
長期収載品等*	598	689	△ 91	△ 13.2	777	77.0
海外医療用医薬品	370	375	△ 5	△ 1.3	470	78.8
ラジカヴァ	159	174	△ 14	△ 8.3	201	79.3
ロイヤリティ収入等	124	136	△ 12	△ 8.7	152	81.8

\* 2020年11月4日に公表しました「ワクチン」および「長期収載品等」の2020年度予想数値に誤りがありましたので、次の通り修正しております。  
 ワクチン 修正前) 408億円 修正後) 416億円、長期収載品等 修正前) 785億円 修正後) 777億円

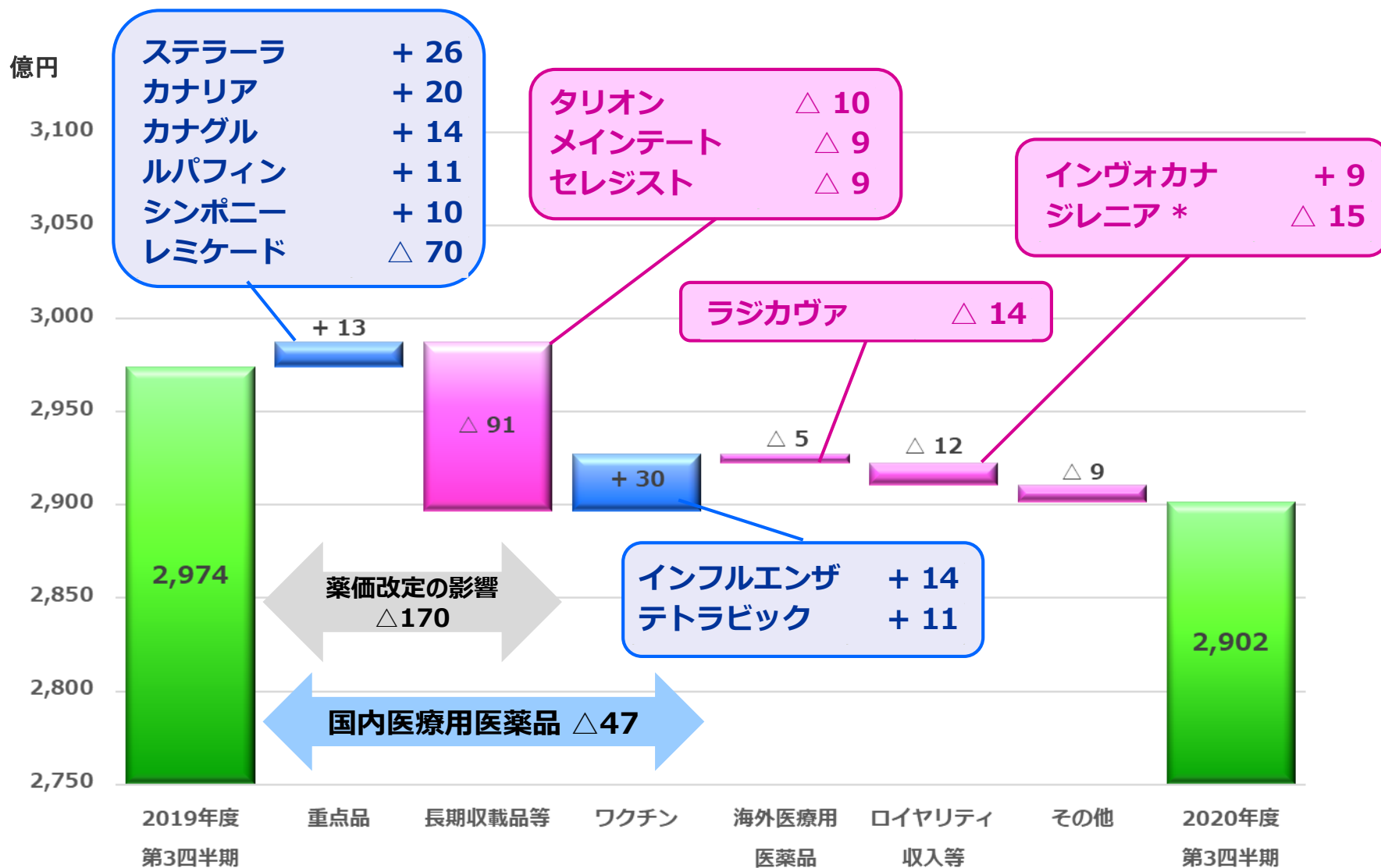


国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2020年度 第3四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第3四半期	増減額	増減率	通期予想 2020/11/4公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	355	425	△ 70	△ 16.5	450	78.9
シンポニー	327	317	+ 10	+ 3.3	427	76.7
ステラーラ	230	204	+ 26	+ 13.0	319	72.1
テネリア	118	121	△ 3	△ 2.1	149	79.4
カナグル	80	66	+ 14	+ 21.3	98	81.5
カナリア	75	55	+ 20	+ 36.0	93	80.6
バフセオ (8月発売)	3	-	+ 3	-	5	65.6
レクサプロ	119	116	+ 2	+ 2.1	148	80.1
ルパフィン	52	42	+ 11	+ 25.3	100	52.1
イムセラ	32	34	△ 1	△ 3.2	41	79.2
<b>重点品合計</b>	<b>1,392</b>	<b>1,379</b>	<b>+ 13</b>	<b>+ 1.0</b>	<b>1,830</b>	<b>76.1</b>
インフルエンザワクチン	138	124	+ 14	+ 11.1	132	104.7
テトラビック	82	71	+ 11	+ 15.3	111	73.7
ミールビック	51	48	+ 3	+ 6.1	64	79.1
ジェービックV	43	42	+ 2	+ 4.0	53	81.9
水痘ワクチン	38	38	△ 0	△ 0.1	48	78.9
ワクチン合計*	360	329	+ 30	+ 9.3	416	86.4
<b>重点品・ワクチン合計*</b>	<b>1,752</b>	<b>1,708</b>	<b>+ 44</b>	<b>+ 2.6</b>	<b>2,246</b>	<b>78.0</b>

\* 2020年11月4日に公表しました「ワクチン合計」および「重点品・ワクチン合計」の2020年度予想数値に誤りがありましたので、次の通り修正しております。

ワクチン合計 修正前) 408億円 修正後) 416億円、重点品・ワクチン合計 修正前) 2,238億円 修正後) 2,246億円



\* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む

# 研究開発の状況 等

# 2020年度 第3四半期の概況

## 主な開発パイプライン

治験コード	適応症	開発段階	進捗状況
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルP3試験（長期安全性試験）実施中 10月に患者組み入れが終了</li> </ul>
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルP3試験を実施中</li> </ul>
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルP3試験を実施中</li> </ul>
MT-0551	重症筋無力症	P3*	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビエラ・バイオ社とグローバルP3試験を実施中</li> </ul>
	IgG4関連疾患	P3*	
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 (植物由来VLP**ワクチン)	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>P2試験を11月から開始。P3試験は2021年の早い段階で30,000人を対象に実施予定</li> </ul>

\*ビエラ・バイオ社と共同開発（グローバル試験実施中）

\*\*VLP (Virus-Like Particle) : ウイルス様粒子

## トピックス

**12月** : OTC医薬品としてアレルギー専用鼻炎薬「タリオンAR」を新発売

**1月** : Kolon Life Science社とのライセンス契約に関する仲裁判断を受領

: 米国におけるALS治療薬のラインナップの強化のため、リルゾール経口フィルム製剤を導入

: 自己免疫疾患治療をめざした抗体医薬に関するライセンス契約をファーマフーズ社と締結

# MT-0551 (一般名：イネビルスマブ)

## NMOSDに続く効能として、2つの疾患でグローバルP3試験を実施中

作用機序	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤
オリジン	ビエラ・バイオ社（米国）
当社権利	日本およびアジア地域（中国など一部地域は除く）
適応症	<p>① <b>重症筋無力症</b>：眼球や手足の筋肉の筋力低下が起こり、すぐに疲れて力が入らなくなる疾患。目の症状が主となる眼筋型と、全身型の2種類がある。 患者数：[日本] 約2万3千人*</p> <p>② <b>IgG4関連疾患</b>：全身の様々な臓器が腫れたり、硬くなったりする原因不明の疾患。免疫グロブリンの1つであるIgG4が血液中で高い特徴が認められる。 患者数：[日本] 約8千人*</p>
開発ステージ	①、②：Phase 3 (ビエラ・バイオ社と共同開発)
今後の予定	<p>ビエラ・バイオ社が実施するグローバル試験に日本も含まれており、国内申請および承認時期は、今後の試験進捗を見て検討します。</p> <p>※視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）の適応症は、2020年6月に国内申請済み</p>

## 新型コロナウイルス感染症の予防をめざすメディカゴ社のVLPワクチン

<b>薬剤分類</b>	植物由来VLPワクチン
<b>オリジン</b>	メディカゴ社（カナダ）
<b>開発ステージ</b>	Phase 2
<b>適応症</b>	新型コロナウイルス感染症の予防
<b>P1試験結果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被験者：カナダの18-55歳の男女健康人180例</li> <li>用法用量：3.75<math>\mu</math>g、7.5<math>\mu</math>g、または15<math>\mu</math>gの3用量のVLPワクチン候補を、単独、およびGSK社またはDynavax社のアジュバントを併用して2回投与</li> <li>試験結果：アジュバント群において、中和抗体と細胞性免疫の誘導が確認され、良好な結果が得られました。また、重篤な副反応は確認されていません。</li> </ul>
<b>P2試験概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被験者：カナダ・米国の成人・高齢者・基礎疾患を有する成人 計900例</li> <li>用法用量：VLPワクチン3.75<math>\mu</math>gとGSK社のアジュバントを併用し21日間隔で2回投与</li> <li>評価項目：安全性と免疫原性（プラセボと比較）</li> </ul>
<b>今後の予定</b>	P2試験を11月から開始した。P3試験は2021年の早い段階で30,000人を対象に実施予定。カナダでの上市を2021年に予定

## ■ 経緯

当社は、2016年11月にKolon Life Science社（以下、KLS社）と締結したインボサーに係るライセンス契約に関して、2018年4月10日に、国際商業会議所(ICC)国際仲裁裁判所(仲裁地：ソウル) に、KLS社を相手方として、契約一時金の返還等を求める仲裁の申立てを行いました。

## ■ 仲裁判断の要旨

2021年1月11日、当社は仲裁判断を受領し、当該仲裁判断において、仲裁廷は、KLS社に対し、当社へ、契約一時金相当である25億円（およびその利息金）、損害賠償として約1.3億円（およびその利息金）、仲裁費用約790万USドルを支払うよう命じました。

## ■ 今後の見通し

本仲裁判断の詳細な内容を精査し、業績への影響に関しては、今後、影響があればその時点でお知らせいたします。

# 米国におけるALS治療薬のラインナップを強化 リルゾール経口フィルム製剤「エクサヴァン」を導入

Open Up the Future



2021年1月21日に、米国子会社ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカは、アクエスティブ セラピューティクス社と、ALS治療薬であるリルゾール経口フィルム製剤「エクサヴァン」の米国におけるライセンスおよび供給契約を締結

## エクサヴァン（EXSERVAN :リルゾール経口フィルム製剤）

- FDAにより、2019年11月に承認
- 米国での販売は、米国販売子会社ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ により、2021年半ばを予定
- アクエスティブ セラピューティクス社が開発した革新的なドラッグデリバリー技術を活用して、患者さんの舌に貼ることによって、水や食べ物がなくても素早く溶解
- 嚥下障害を併発しているALS患者さんに対して、エクサヴァンの利便性は高く、当社のALS治療薬であるラジカヴァとの併用も可能



<投与方法・イメージ>



# 自己免疫疾患治療をめざした抗体医薬に関する ライセンス契約をファーマフーズ社と締結

Open Up the Future



## ■ 経緯

2018年10月に開始した共同研究において、ファーマフーズ社独自の抗体作製技術や、当社の抗体親和性技術等を用いることで、従来技術では抗体作製が困難であった自己免疫疾患の創薬標的分子に対して、抗体医薬品の開発候補抗体を取得しました。

## ■ 契約概要

2021年1月26日に、共同研究を進めてきた開発候補抗体の独占的ライセンス契約を締結しました。本契約の締結により、当社は、開発候補抗体の製造、開発および販売を、全世界で独占的に実施する権利をファーマフーズ社から取得します。

当社はファーマフーズ社に対して、契約一時金として3.2億円を支払います。また、今後開発段階に応じた開発マイルストーンおよび上市後の全世界における販売額に応じたロイヤリティと販売マイルストーンを支払う予定です。

## ■ 今後の予定

当社の重点疾患領域である免疫炎症領域において、本件は重点プロジェクトのひとつとして位置付けており、一日も早くP1試験を開始し、抗体医薬品として開発を進めてまいります。

# OTC医薬品 アレルギー専用鼻炎薬 タリオンAR 新発売

Open Up the Future



2020年12月より  
全国の薬局・薬店、ドラッグストアで  
販売を開始



## 医療用成分「ベポタスチンベシル酸塩」を、医療用と同量配合 「タリオンAR」の5つの特長

1. 速やかに体内に吸収され、くしゃみ・鼻水・鼻づまりに優れた効果を発揮
2. 朝夕 1錠、1日2回の服用で、24時間効果が持続
3. 鼻ではしっかり効き、脳には移行しにくいいため、眠くなりにくい
4. 空腹時でも服用できる。食前・食後を気にすることなく服用可能
5. 口が渇きにくい。ベポタスチンベシル酸塩は、唾液の分泌を減らす抗コリン作用が少ない成分

# 主な開発パイプライン 一覧

2021年1月25日現在

今回の進捗

Open Up the Future

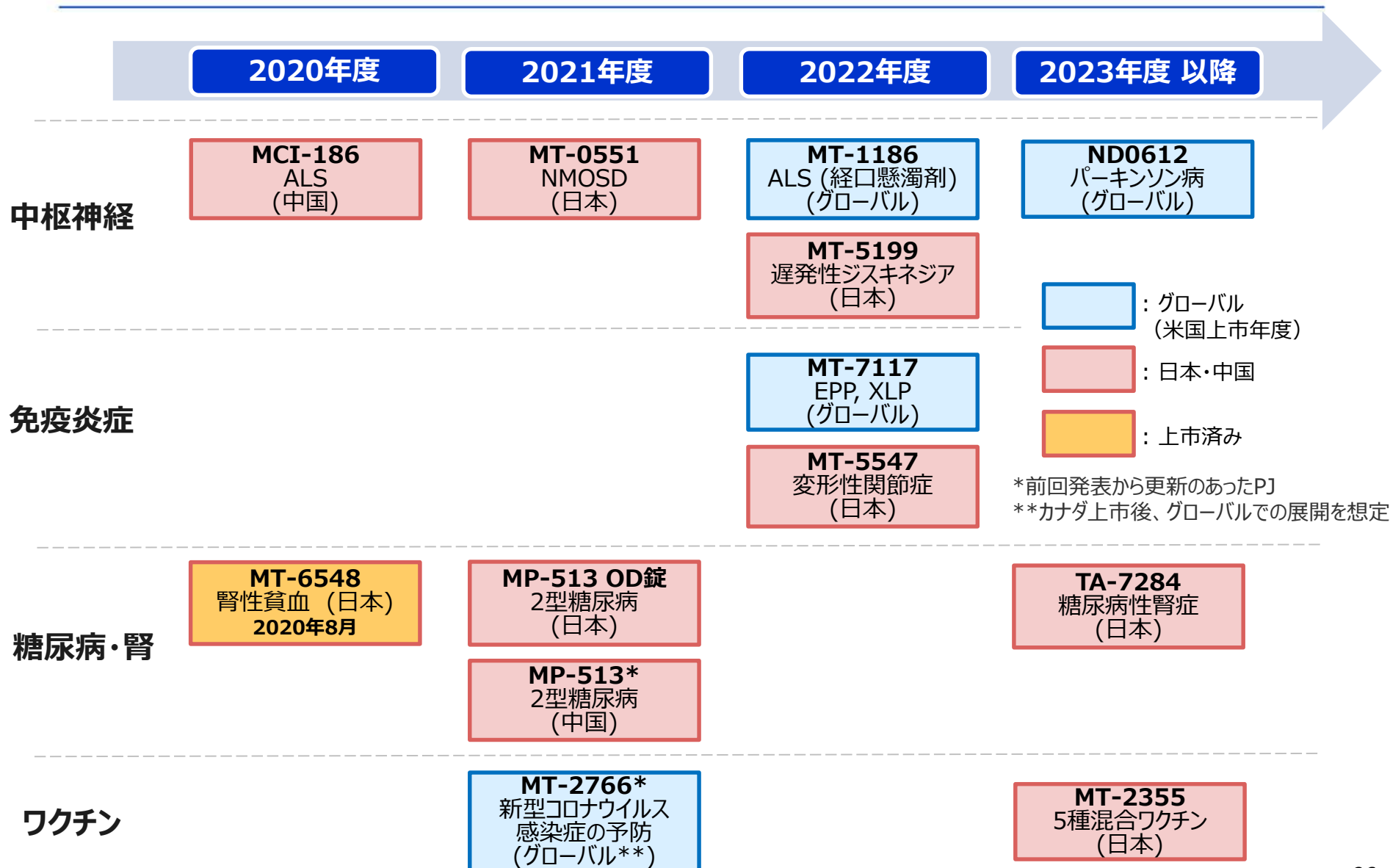


重点領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-8554	グローバル	更年期に伴う血管運動神経症状			準備中		
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)					
		日本*	重症筋無力症					
MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア						
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本*	IgG4関連疾患					
糖尿病・腎	MT-3995	グローバル	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)					
	MT-6548	日本	腎性貧血					2020年6月
	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					
	MP-513	中国	2型糖尿病					
ワクチン	MT-2766	グローバル	新型コロナウイルス感染症の予防					
	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防 / 高齢者					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン**					

\* ビエラ・バイオ社と共同開発 (グローバル試験実施中)

\*\* 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

# 主な開発パイプラインの上市計画



  : グローバル (米国上市年度)  
  : 日本・中国  
  : 上市済み

\*前回発表から更新のあったPJ  
 \*\*カナダ上市後、グローバルでの展開を想定

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情電・ディスプレイ関連製品、高機能成形材料、高機能ポリマー、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。

但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

以上